

契約内容不適合（瑕疵）一覧表作成の留意点

大阪地方裁判所第10民事部

実際の施工等

- ★ **施工等の現状**（≠現象、補修済みの場合は補修前の現状）を、あるべき施工等と混ぜずに入力
- ★ 写真、図面等を証拠として掲記

あるべき施工等

- ★ あるべき施工等の根拠に応じ、証拠等を掲記
 - ・ **合意**（約定、契約）
 - ☞ 当該合意を裏付ける図面、見積書等
 - ・ **建築基準法規違反**
 - ☞ 当該法令等の条文等の番号
 - ・ **社会通念上求められる技術水準**
 - ☞ 技術水準を裏付ける資料

証拠はページ数等を付して入力！

補修費用等

- ★ **補修に必要な工事の具体的内容も**入力（× 見積書の項目だけを入力）
- ★ 契約内容不適合（瑕疵）を否認するときも、これが認められる場合に必要な工事内容・費用の認否反論を入力

